ＯＢ会だより

第 50 号

〈発　行〉
京都外国語大学
能楽部OB会広報部

第五十回記念 外大能 十二月八日(日) 於 河村能舞台

平素より、京都外国語大学能楽部ＯＢ会の運営にご理解とご協力を頂き心から御礼申し上げます。

今年の外大能は記念すべき第五十回記念大会です。十二月八日(日)、河村能舞台に於いて、現役達が一年間練習してきた成果を発表します。現役が演じる能楽「吉野天人」、舞囃子「敦盛」、「融」、「野守」そして数々の仕舞に加えて、記念大会に花を添えるべくＯＢ会からも舞囃子、仕舞の多数出演があります。(番組紹介は8頁です)なんと舞囃子は、「高砂」、「鶴亀」、「熊野」、「松虫」、「熊坂」の五曲！、そして仕舞は九曲です。特に今年の舞台の注目すべき点は、能楽「吉野天人」の地謡です。島谷会長が地頭を勤められＯＧと現役だけの構成！という、まさに現役とＯＢ会共催の舞台に相応しい形が実現することとなりました。今号も舞囃子で出演する方々のコメントや能の地謡の練習風景の取材の他、「ＷＥ ＬＯＶＥ ＮＯＨ！」等々、楽しいコラムが盛り沢山。どうぞお楽しみください。

※今年のＯＢ連吟曲は「菊慈童」です。

外大能当日は、足袋をご持参の上、振るってのご参加をお待ちしています。



吉野天人(イメージ)

第五十回記念「外大能」を迎える喜び

ＯＢ会会長　島谷 直美



平素は、能楽部ＯＢ会に、ご支援ご協力下さりまして誠に有難うございます。

今年、十二月八日、河村能舞台に於きまして、ＯＢ会共催第五十回記念「外大能」を催す事となりました。能楽部は、この「外大能」を一年のクラブ活動の最大最終目的として活動し続けてきました。

一回生で初舞台、二回生で難関仕舞、三回生で舞囃子、四回生で能楽…と、一年ごとに目標をどんどん高く掲げ、能により深く接し、仲間と共に「外大能」を目指して進んで行く。この繰り返しを休むことなく続けて、五十回記念の佳年を迎える事ができました。時代を超えての、現役の熱い思い、ＯＢの皆さんの弛まないご支援、そして能楽部を生み育てて下さった橋本儀道先生の変わらぬクラブへの愛着とご指導の力の賜物のお陰と心より感謝しています。

現役の能「吉野天人」は現役ＯＧだけの地謡となり、クラブの後仕事帰りのＯＧと現役とで合同練習を重ねています。また現役の舞囃子、仕舞に加え、ＯＢ会からも沢山の舞囃子とお仕舞の出演もあり、積極的にそして熱心にお稽古に参加し、卒業後もさらに能への思いを磨き「外大能」をより素晴らしい記念の会となるように現役と共に頑張って下さっています。

どうぞ、十二月八日、河村能舞台にお運び頂き、皆様と共に「五十回記念外大能」を盛り上げお祝いしたいと心より願っています。

(脚注：イメージ写真は檜書店発行『観世』より)

新OB会員紹介

★年度代議員



★会員 No.153
彌益 光佑

最初に礒道先生、忠樹先生、そして多くの先輩方にお礼を述べたいと思います。それは大学で始めた能楽を社会人になっても続けられる機会を与えてくださったことに対してです。社会人になってから早半年が経ちましたが、京都外国語大学に入学し、そして能楽部として活動したことが昨日のように思えます。それはわたしにとって能楽部がいかに大学生活の中心部であったかを感じさせます。能という初めての体験、優しくもしっかりと指導してくださる先生方と先輩方や楽しい後輩たちに出会えて、とても充実した四年間を過ごせました。重ね重ねお礼申し上げます。ありがとうございました。

社会人になって苦しいことやうまくいかないことの連続ですが、なんとかこれまで乗り越えてきました。それは決してわたしだけの力ではなく大学生活の能楽部での活動経験が背景にあるからこその力だとつくづく思います。

まだまだ社会人としては未熟者のわたしではございますが、礒道先生、忠樹先生、現役時代お世話になった先輩方、これからはＯＢ会の一員として宜しくお願い致します。みなさんと共に能楽部を盛り立てていく所存にございます。



ＯＢ会の諸先輩方へ

部長　村田瑞穂



第五十回記念外大能の開催にあたり、心から御礼申し上げます。

平成二十五年の日本は震災からの復興に向けて、一進一退しつつも、絆を重視する風潮がより高まってきております。また私たちは、この京都の地で次の世代を担う若手として、能楽という伝統文化をしっかりと守りつつ演じ、新たな「希望の光」と「絆」を見出しています。

残念ながら、日本では伝統文化が失われつつあります。しかし、日本の精神文化を凝縮している能楽を志し、日々努力されている皆さんは、日本の伝統文化を後世に伝えられる貴重な存在です。また、「お能」を通して得られました日本文化への深い理解は、今後の皆様の人生を豊かで満たされたものにしてくれることでしょう。そして、第五十回の舞台が素晴らしいものとなりますよう、また京都外国語大学能楽部、ＯＢ会のさらなる発展を祈り、私達も尽力させていただきます。よろしくお願い致します。

【現役執行部の紹介】

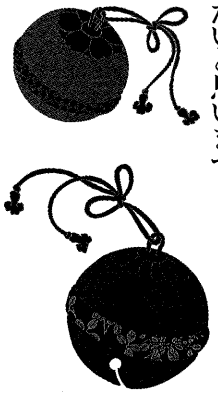
部長・外大能	村田　瑞穂
実行委員長	
副部長	小林恵利香
外大能会計・情宣	橋口　莉奈
渉内・会計	木下　結
渉外・外大能実行委員	村井　理恵
外大能会計・外大能実行委員	飯田加奈子
渉外	片岡　綾音
渉内	薬師寺美奈

舞囃子出演の熱き想い
～高砂・鶴亀・熊野・松虫・熊坂～

舞囃子「高砂」への想い
松田高雅

第五十回記念外大能で舞囃子高砂を舞わせていただきます。多くの諸先輩方、そして後輩達が舞ってきた思い出深いこの曲を舞わせていただく事は、私にとって非常に大きな意義があります。私が高砂を初めて見たのは、第三十八回外大能での兵道亮太先輩の舞台でした。翌年第三十九回外大能では、松田陽一君の地謡について待謡を謡いました。

私の入部は二回生になってからでしたので、本来であれば四回生の外大能で舞囃子を舞って卒業するところでした。儀道先生をはじめ、当時の四回生、三回生のご好意により、四回生の翡翠の会で舞囃子「高砂」を舞い、第四十回記念外大能で能楽「鵜」前シテをつとめさせていただきました。現役時代には、卒業後も能のお稽古を続けるとは思っていなかったのですが、今では舞台に立つ事が自分の初心、未熟な部分を知る大切な機会となっています。卒業して十年の節目でもある今回、是非舞囃子を舞いたい、それも現役の時に舞った高砂を舞いたいと思い、厚かましくもお願いいたしました。今回で七回目の舞囃子、十三回目の外大能ですが、外大能で舞囃子を舞わせていただくのは、初めてです。学生時代の一年を、この十年で埋められたかはわかりませんが、儀道先生、忠樹先生、諸先輩方、後輩達、そして主役である現役の皆さんに恥じない舞台にしていきたいと思います。



舞囃子「鶴亀」への想い
岸本充雄

まず初めに舞囃子の許可を頂きました儀道先生、そして主催される能楽部現役の皆様に心より御礼申し上げます。

鶴亀の謡を先輩方から優しくも厳しい手ほどきを頂いたのは平成十六年、入部当初のことでした。じゃんけんに負けて同輩の中で一番に「それ清陽の～」と謡いだした瞬間は今でも胸の中でくすぐったい記憶として残っています。

新年を寿ぎ、鶴と亀が舞い、皇帝自らが舞を舞うという雰囲気に重点を置いた内容に能楽の深い魅力を感じ、いつか舞台で舞わせて頂きたいと入部以降ずっとずっと思い続けてきました。しかし、いざお稽古が始まると「楽」の難解さや鶴亀のノリや雰囲気に打ちのめされました。とにかく日々絶えず鶴亀と向き合い己を高め続け、外大能本番を無事迎えられることを切に願うばかりです。奇しくも今年初めに見たお能が片山定期能の鶴亀でした。鶴亀に始まり、鶴亀に終わる一年になるよう限界まで頑張りたいと思います。

最後になりましたが、第五十回記念外大能がさらなる未来へと繋がる舞台になるよう心より応援するとともに、番組に花を添えられますよう盛会に尽力させて頂きます。

舞囃子「熊野」への想い
福本光咲

この度、五十回記念外大能で舞囃子「熊野　村雨留」を舞わせて頂くことになりました、福本光咲と申します。

私にとっては、初めての舞囃子で、その上記念会で舞うことができること、とても嬉しく思っております。舞囃子を舞うと決めるにあたって、一番のきっか

けになったのは礒道先生、忠樹先生のお社中の会に出演させて頂いたことでした。こんなに楽しいことが、もしかしたらこれからできない時期もあるかもしれないと考えると、今ができる時なら今やりたい！と思いました。

熊野と聴いて、私が一番に思い浮かぶのが「親思い」という言葉です。親不孝ばかりしている私には縁遠い言葉で似合わないかもしれませんが、謡の美しさに惹かれて熊野を選びました。未熟な私ですが、一生懸命この貴重な舞台を舞わせて頂きます！

最後になりましたが、ＯＧになってからも変わらず熱心にお稽古してくださる橋本礒道先生、忠樹先生、アドバイスやたくさんの楽しい時間をくださる島谷直美先輩をはじめとした先輩方、そして部室をお邪魔する時、温かく迎えてくれる現役の皆様に、心より感謝いたします。ありがとうございます！これからもどうぞよろしくお願いいたします！

舞囃子「松虫」への想い

森　皓平

ＯＢ会の諸先輩方、お世話になっております。この度、五十回記念外大能におきまして、舞囃子『松虫』のシテを勤めさせて頂きます、平成二十三年度卒、森皓平と申します。

この五十回記念というハレの舞台に、このような形で参加させて頂けることを大変うれしく思います。ＯＢとなり、二年ばかりのまだまだ未熟な身ではありますが、舞台を少しでも華やかにできますよう、全力を尽くします。

松虫は、松虫を追う中で果ててしまった友を追い、身を投げた男の未練を謡った曲です。誰かのためにではなく、誰かを思って命を捨てる。それは愚かな自己満足かも知れませんが、同時に、とても美しいものであると私は感じます。現在は友人間による悲しい事件が多発する世の中です。この曲を通し、友人の大切さを再認識するとともに、友を偲ぶ儚さ、思い出の中の華やかさを表せるよう精進してまいりますので、皆様今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、このように今日まで舞台に立てますのもご指導くださった、橋本礒道先生、忠樹先生、諸先輩方、そしてクラブを繋げている現役生がいてこそと思っております。簡単ではございますが、この場にて御礼申し上げます。

舞囃子「熊坂」への想い

島谷直美

八年前お社中の会で、能「巴替装束」「船弁慶　重前後之替」を続けて舞わせて頂きましたが、長刀物の集大成として、いつの日か「熊坂」の舞囃子を舞いたいと思っていました。この度、五十回記念「外大能」にてこの思いを叶える事ができとても嬉しく思っています。

私にとって「熊坂」を舞う事は、「女性である事」「年齢の事」「体が小さい事」の三つの悪条件を抱えての無謀な挑戦です。曲が決まった頃、思うように体が動かず、この三つの悪条件の現実を思い知らされましたが、奮起し朝晩の体操、歩きと、体調を整えながらお稽古をしてきました。

軽やかに自由に飛び跳ねる牛若丸を必死で追いかけ真剣に戦う「初老の熊坂」を自分の思いに重ね、女性であっても小さな体でも「熊坂」として、自然に観て頂ける舞台になればと思っています。そして、女子部員やＯＧの皆さんが、「いつか熊坂を舞いたい」と思って頂けたら最高に嬉しいです。

無謀な挑戦をお許し下さりご指導下さる礒道先生、忠樹先生に心より感謝しています。

祝ご結婚

末永くお幸せに！

京都外国語大学能楽部講師

橋本忠樹先生

京都外国語大学能楽部講師橋本忠樹先生がご結婚され、去る二月二十六日に京都ホテルオークラにて結婚披露宴が行われました。能楽部ＯＢ会からは、島谷会長と松田高雅氏が出席されました。

当日は能楽師の先生方をはじめ多くのご友人がお二人の祝福に駆けつけられ、賑やかな披露宴だったとのことです。

寡黙でプライベートなことはほとんどお話されない忠樹先生。こんなに美しい奥様とじっくり愛を育んでおられたのですね。いつも舞台で拝見する紋付袴姿とは少し違う、凛々しいお姿。写真からも、緊張が伝わってきます。

昨年四月には、大曲「道成寺」を披かれ能楽師として大きな節目を迎えられました。

そして今年はご結婚。素敵な奥様とともに新生活をスタートされ、今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。



WE LOVE NOH!

二〇〇六年度卒業の星　裕子さんが地元宮城県で能楽に親しんでいる姿を紹介してくれました。

私は現在、実家である宮城県白石市に住み、市内の母校に勤めております。母校から徒歩５分のところには、東北で唯一の室内能楽堂を所有する、「碧水園」という施設があります。

碧水園は東日本大震災で半壊したにも関わらず、たくさんの方のご支援によりたくさんの古典芸能の講座を再開できるようになり、今では市内外から多くの受講生が参加しています。

この度、縁あってこの碧水園で「先生方のための能楽入門」講座に参加させて頂くことになり、東京でご活躍されている観世流能楽師の小島英明先生の下、お能の歴史の講義やお謡のお稽古をして頂いております。

大好きな京都で学ばせて頂いた日本文化の素晴らしさと、海外の文化の素晴らしさを子どもたちに伝えられることを幸せに思い、さらにお稽古に勉強に励んでいきたいと思います。



住所変更について

お引っ越し、ご結婚などで住所、氏名の変更をされた方は、必ず京都外国語大学能楽部ＯＢ会の専用アドレス、もしくは会員部までご連絡をお願い致します。

専用アドレス　gaidainoh@yahoo.co.jp

〒615-0058
京都市右京区西院笠目町6
京都外国語大学　能楽部ＢＯＸ内
ＯＢ会会員部　宛

ＯＢ交歓会で現役生との交流



六月三十日(日)、円山公園「いふじ」で交歓会が開催されましたしました。フレッシュな一年生をはじめ、若い現役生と鍋を囲んで交流を深めました。能楽部や大学の授業の話題となると年の差なんて何のその…本当に楽しいひとときでした。

何より今年の外大能は第五十回記念大会ということもあり、現役の舞台に向けての意気込みがとても熱く伝わって来ました。何かに向かって打ち込む情熱を感じる機会が減って来た昨今、能楽部はまだまだ熱い！そんな印象を持ちました。きっと盛会となることでしょう。

ＯＢ懇親会



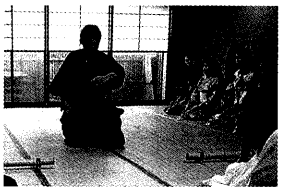


八月十一日(日)ホテル杉長に於いて、ＯＢ懇親会が行われました。各部署の簡単な報告会の後、美味しいお鍋を頂きました。

ホテル杉長を後にして、二次会は、「祇園ＯＮＥ　ＬＯＶＥ」へと場所を移し、いつもと雰囲気の異なる会場で楽しいひとときを過ごしました。

第五回 花鏡の会「ゆかた会」開催！

八月十一日（日）ホテル杉長に於いて、花鏡の会第五回発表会「ゆかた会」が開催されました。早いもので、今年で五回目となりました。日頃ご指導頂いております橋本忠樹先生のおかげで、こうして節目の会を迎えることができ、感謝申し上げます。ゆかた会も外大能同様、夏の行事として定着して参りました。「楽しくお稽古」とは言うものの、忙しい毎日に追われ練習もままならず、納得の行く舞や謡ができない…そんな悔しさも残りますが、それは自分の生活環境や精神状態を見つめ直す機会となり、また、外大能への目標となります。







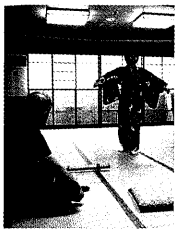




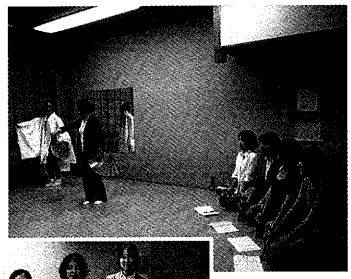








突撃取材 THE 吉野天人





第五十回記念外大能に向け、現役もＯＢも稽古に励んでいる今日この頃。今年の能は「吉野天人」です。十月に入り、現役とＯＢとの合同練習が始まるとのことで、突撃取材をしてきました!その練習の様子をご紹介します。

＊＊＊＊＊

正規練習が終わった頃、仕事を終えたＯＧたちが続々とＢＯＸに集まってきました。今回は現役を含めた計八名の、島谷会長率いる最強女性地軍団です。

メンバーの中には、かつて能地を経験している方もいますが…今の心境はと聞くと「舞台で頭が真っ白になりそうです」「お囃子とズレたらどうしよう」「正座がキツイです」と各々に不安を口にしていました。

日々の生活に追われ家庭に仕事に忙しいＯＧが、年の離れた現役と一緒に舞台をつくる、それだけでも大変なことです。能地だからというわけではなく仕舞や舞囃子に関しても同じですが、シテと地謡が各々に頑張って練習しても、練習だけではどうにもならないことがあります。最終的に皆で声を合わせ、空気を合わせ、心を合わせないことにはいい舞台はできません。そのために、練習を一緒にするだけでなく、一緒にお弁当を食べて談笑したり着付けの練習をしたりと、何気なく現役と関わるということも、一緒に舞台をつくるのに必要なことです。

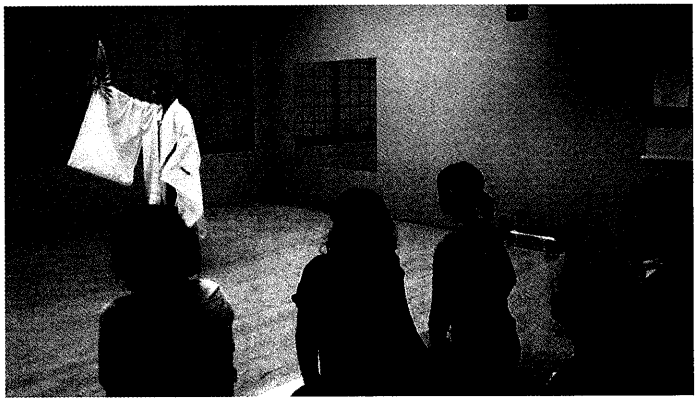


着付け教室の一幕



現役の時は当たり前のようにできていたことを、今同じようにするには、なかなか難しいかもしれません。だからこそ、今だからできる関わり方をしていくことが大事なことではないでしょうか。

本番まであと少し。素晴らしい舞台になるよう、頑張ってください!





第五十回記念 外大能 番組紹介（簡略）

平成二十五年十二月八日（日）午前十一時始メ　於 河村能舞台

養老　連吟
　仕舞　部員一同

田村　キリ　仕舞　薬師寺 美奈

杜若　キリ　谷口 詩歩

天鼓　仕舞　飯田 加奈子

嵐山　吉野 匠

経正　キリ　片岡 綾音

大江山　舞囃子　木俣 悠

敦盛　村田 瑞穂

融　木下 結

野守　仕舞　小林 恵利香

屋島　兵道 亮太（ＯＢ）

枕之段　井上 真一（ＯＢ）

玉之段　益田 ちさと（ＯＧ）

巴　西村 文香（ＯＧ）

班女　舞アト　塚田 智恵（ＯＧ）

山姥　キリ　木村 与宣（ＯＢ）

鶴亀　舞囃子　岸本 充雄（ＯＢ）

熊野　福本 美咲（ＯＧ）

松虫　仕舞　森 皓平（ＯＢ）

賀茂　藤原 敏起（ＯＢ）

松風　土井 智代（ＯＧ）

鉄輪　舞囃子　鴨川 愛子（ＯＧ）

高砂　松田 高雅（ＯＢ）

熊坂　ＯＢ会連吟　島谷 直美（ＯＧ）

菊慈童　番外仕舞　ＯＢ・ＯＧ ★

道明寺　橋本 雅夫

雨之段　橋本 礒道

岩船　能楽　橋本 忠樹

吉野天人　橋口 莉奈
　村井 理恵

地謡　木下 結　塚田智恵（ＯＧ）
小林恵利香　鴨川愛子（ＯＧ）
村田瑞穂　島谷直美（ＯＧ）
西村文香（ＯＧ）　土井智代（ＯＧ）

★ 多数のご参加をお待ちしています。足袋をご持参ください。

能楽部関連ホームページのご案内

『京都外国語大学能楽部』➡ http://www.kufs.ac.jp/student/nogaku/index.html

能楽部の現役部員が管理しているサイトです。部員の紹介をはじめ、外大能のお知らせなど楽しいホームページです。是非一度ご覧ください。

『観世流能楽師 橋本忠樹先生のHP』➡ http://www.hashimoto-tadaki.jp

能楽部講師　橋本忠樹先生のホームページです。能楽の解説をはじめ能楽界に関する様々なお話が分かり易く解説されています。徒然日記、先生の海外出張のご紹介など、忠樹先生の素顔や普段の多方面に亘ってご活躍されている一面を知ることが出来る興味深いホームページです。

会計局から会費納入のお願い

◎一般会員　8千円
◎夫婦会員　1万2千円

前年度分まで未納の方は本年度分と併せてお振り込みくださいます様お願い申し上げます。

［振込先］
☆郵便口座
００２８０－１－５２０７６
☆加入者名
京都外国語大学能楽部ＯＢ会

編集後記

毎回同じコメントで恐縮ですが…今号も広報部の非常に素晴らしいチームワークで順調に作成することが出来ました。

そしてお忙しい中、原稿の依頼に快くご協力頂いた方々に心から感謝を申し上げます。

これからも様々な角度から能楽部を知ることが出来る（ちょっと大層ですが）、楽しいＯＢ会だよりにしたいと広報部一同目指して参ります。

貴重なご意見やご希望の企画などあれば、執行部（広報部行）宛にどしどしお寄せください。よろしくお願い致します。

《ＯＢ会だより第50号》
◎編集責任者　藤原敏起
編集委員／唐木啓子・土井智代
鴨川愛子
◎発行責任者　島谷直美